



三和工業 株式会社

- ▶ 本社所在地／宮城県遠田郡美里町練牛字26の36
(本社所在地は上記になりますが、メインは石巻工場になります)
- ▶ 主な事業内容／機械器具製造業
- ▶ 従業員数／50名

健康経営優良法人認定／2022～2023認定
(2023はブライト500)



➡ 健康経営に取り組むきっかけ

創業者である会長が病気で他界したことで、「健康の大切さ」を改めて考えるようになりました。「あと10年生きたい」という会長の言葉が強く印象に残り、社員には同じ思いをしてほしくないと本格的に健康経営をはじめのきっかけとなりました。



最初は手探り状態で始まりましたが、進めていくうちに従業員からも要望や提案が出るようになり、会社全体で健康経営に前向きに取り組んでいます。

➡ 注力している取り組み

社員の思いに耳を傾けることは常日頃心がけていることです。月に1度行っている社内会議でもいつも積極的にアイデアが出るので、できることから実現するようにしています。その中で、1番好評なのは「健康に食事面の改善は欠かせない」と始めた外部サービスの「置き型社食」です。健康推進委員が筆頭となり、需要はどれほどあるのか・経費はどれくらいなのかなどを調べ、社長を交え3度のプレゼンテーションを行い「まずは3ヶ月試してみよう」と始めた取り組みでしたが、今では入荷したら数日で売り切れてしまうこともあるほどです。



社員の思いを形にしたことがしっかりと根付いたことで、結果としてプレゼンティーズムの改善にも繋がりました。

➡ 取り組みの課題

健康診断では運動不足やメタボが課題として挙げられています。そのため、社員の目に留まりやすい場所に注意喚起のポスターを貼り出したり、食に関するセミナーを開催したりと社内周知に努めています。

また、毎朝ラジオ体操を実施し身体を動かすことを日常化することで、健康改善に繋がったと実感している社員もいることから、継続の大切さを感じています。



➡ 取り組みの効果

スタート当初から健康経営を始める理由は「働く環境を見直し、社員の皆さんの健康と安全を守るため」ということを周知徹底できていたため、協力も得られ効果も高かったと感じています。

腰痛予防対策としてヨガ教室の開催を提案した際も、初め男性社員は乗り気ではありませんでしたが、参加後は「気持ちよかった」「やってみてよかった」との声が多く、全体を巻き込んで実施することの大切さを感じました。

現在計画しているのは、社員全員で地元・松島を散策するという企画。近いからこそなかなか足を運ぶことのない場所を散策しながら、コミュニケーションをとることで親睦を深めることが目的です。近く実現したいと考えています。

➡ 今後の展望をお聞きしました！

今後は、「喫煙率」と「メタボ」を改善していきたいと考えています。そのためには、今まで同様社員からのアイデア・企画に向き合い、できることから実現していくという姿勢はぶらさずしていきたいです。

我が社が大切にしているのは、自社の問題に合わせ独自の対策を行うことです。色々な会社から健康経営についての話を聞きますが、他社の取り組みを真似るのではなく、自社の問題に沿った対策・発信をすることが重要だと考えています。



代表取締役 佐藤 隆一氏